

『時事直言』 No.1604 2023年5月22日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

二重の罠にかかったプーチン

2022年になるとプーチンをウクライナ軍事侵攻に誘き出す為、CIAはプーチンの目の前でドネスクとルガンスク州のロシア住民に対する大量殺戮を繰り返した。

プーチンが習近平に会うため2022年2月8日北京オリンピックに行ったのは、ロシア住民を救済する為やがてやらねばならなくなるウクライナ侵攻を習近平に理解してもらい、支援を求める為であった。

習近平は、プーチンがウクライナへ軍事侵攻することは自殺行為であることをよく知っていた。

非米、反米諸国で構成されている東側陣営の上海協力機構と新興国グループのBRICS(ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)の盟主は常に習近平とプーチンの二人なので機会があれば習近平一人体制にしたいと思っていた、丁度その矢先、プーチンは自殺したいから協力してくれと言って飛び込んできた。

だから習近平は「無上限・無禁区友情」と言って「わが友よ、全面的に支援するから心配しないで思う存分戦ってくれ」と言ってプーチンに墓穴を掘らせることにしたのである。

長引くウクライナ戦争の結果、ロシア経済は対中依存、国際金融取引は人民元依存、兵器の部品は中国依存。

マクロン・フランス大統領が言う通りプーチンは習近平の手下になったのである。

プーチンを動かせるのは習近平だけだから、広島 G7 サミットでの声明は「ウクライナの和平は中国(習近平)にお願いする」となっている。

G7は対ロ制裁、ウクライナ支援で戦争を激化、長期化することは出来ても、戦争を終わらせることは出来ない。

不倶戴天の敵であるサウジとイランに国交正常化させた習近平はやがて中東の原油を動かし、ウクライナ戦争を終わらせウクライナの石炭と小麦を支配する。

スーダンの内戦勝敗は今や中国次第。

勝った方は中国に金鉱の利権を渡す。

正義の為の戦争は歴史教科書の為。

戦争と和平の真実は金(マネー)の為。

21世紀になってどの戦争もアメリカが損をして中国が儲かっている。

ウクライナ戦争の唯一の勝者は中国である。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○本日の株式指南 ○本日の世界政治・経済情勢です。

★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313) までお知らせ下さい。